

<研究名称>

入院支援係が業務拡大した取り組みと今後の課題

<実施責任者>

看護部 倉本 知美

<研究期間>

倫理審査委員会承認後から

<研究の目的・意義>

入院支援係の業務拡大に合わせた業務改善の内容を病棟の業務負担、患者サービスの点から振り返り、今後の入院支援の在り方と課題を見出すこと

入院支援は、患者や家族が安心して安全に入院するために、患者・家族に寄り添い支援することを基本に看護の質向上を目指すことである。また、経験の異なるスタッフが、適切なアセスメントを行い、問題を抽出し必要な支援を継続することが求められる。更に、薬剤師、栄養士、理学療法士などの関係多職種が早期から介入することで地域包括ケアシステムの一部として発展するための示唆を得る。

<実施内容（方法）等>

1. 研究デザイン：実践報告
2. 研究期間：2019年6月1日～2019年10月30日
3. 研究対象：入院支援係看護師、外来看護師、病棟看護師
4. データの収集方法：
  - 1) 入院支援係業務日誌（対応患者数、入院方法）
  - 2) 調査の結果
    - (1) 入院支援センター設立プロジェクトによる2016年入院支援部署設置後調査結果
    - (2) 看護情報管理室による2018年度一般病棟看護業務量調査結果
5. データの分析方法：単純集計

<実施責任者及び実施担当者>

|       |     |        |
|-------|-----|--------|
| 実施責任者 | 所 属 | 入退院支援室 |
|       | 職 名 | 看護副部長  |
|       | 氏 名 | 松田 哲子  |

実施担当者 所 属 入退院支援室  
職 名 看護師  
氏 名 倉本 知美

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 看護部 倉本 知美

TEL 0166-22-8111 FAX 0166-24-4648